

# 40年前見た大仏追想

島根県立美術館（松江市袖師町）のクローン文化財展に展示されている「バーミヤン東大仏天井壁画」を特別な思いで眺める人がいる。元県立大教授の瀬古康雄さん(73)＝松江市大庭町＝で、約40年前に現地を訪れたことがあるからだ。6日には失われた大仏を追想し、会場でシタール演奏と語りのイベントを催す。

（広木優弥）

東京芸術大学  
クローン文化財展  
**甦る世界の文化財**  
—法隆寺からバーミヤンへの旅—

瀬古さんは京都大で哲学を学び、卒業後の1971年に当時の県立島根女子短大に赴任。76年に中央アジアの遺跡調査隊に加わりアフガニスタンのバーミヤン遺跡群を訪れた。岩の崖をくりぬいて造ら

れた高さ55メートルの西大仏や38メートルの東大仏を目の当たりにし「巨大すぎて声が出なかつた。自分一人の力ではびくともしない、そういうものがあると気付けた」と振り返る。東西の大仏が旧タリバン政権によって破壊されたのは2001年。「突然のことで驚き、あの時出会った人たちは無事だろうか」と案じたという。この夏、クローン文化財展に何度も足を運び、東大仏の頭上に掲げられていた天

## バーミヤン遺跡調査で訪問

元島根県立大教授・瀬古さん（松江）

### 「現地の記憶そのまま」 シタール奏で思い出語る

あす



「バーミヤン東大仏天井壁画」の展示を見る瀬古康雄さん＝松江市袖師町、島根県立美術館

井壁画の復元作品に見入った。当時、壁画があった大仏頭部付近まで足を運んだといい「修行中の入しか登れない特別な場所だった。とても刺激になった」と述べた。会場で映し出される風景映像に「現地の記憶そのまま。失われたものが本当によみがえったようだ」と感動を語る。6日は午後2時から、インドの弦楽器シタールを弾きながら思い出などを語る。中村元記念館・東方学院の講師を務めており、公開講座として開く。—東京芸術大学クローン文化財展 甦る世界の文化財—法隆寺からバーミヤンへの旅」は、東京芸術大と山陰中央新報社など実行委員会の主催で26日まで（14日を除き火曜休館）。

# 島根県立大 短大部存続へ

## 第3期中期計画に明記方針

### 10月に学内組織方策議論

島根県立大（本部・浜田市野原町）が、短期大学部（松江市浜乃木7丁目）に

ついて、検討中の第3期中期計画（2019～24年度）に存続を明記する方針を決めた。保育学科を中心に短大部のニーズがあると判断したため。存続を前提に、教育内容を発展させる方策を議論する学

内組織を10月に発足させる。松江キャンパスの短大部

は、保育と総合文化の2学科で定員は各40人。設置者の県が一時、今年4月の学部改編で四年制化する方針を打ち出したが、県議会から「需要がある」との指摘を受け、定員を減らした上で残した経緯がある。20

18年度の両学科の志願倍率はいずれも、前年度を上回った。

県は第3期中期目標（19～24年度）の最終案を県議会に提示し、9月定例会で議決を得たい意向。同大は、松江キャンパスの幹部と教員らで構成する学内組織で特徴のある教育内容にするための議論を進め、県

が策定する中期目標を基に、短大部を維持、発展させる方策を中期計画に明記し、認可を得ることを目指す。

清原正義理事長兼学長は「短大卒の保育士ニーズの高さに加え、経済的な負担も軽いため、短大は維持する必要がある」と述べた。

（鎌田剛）

# 島根県立大 他の大学院開設も検討 学長「質高い人材育成する」

## 学長「質高い人材育成する」

島根県立大の清原正義理事長兼学長は29日、出雲キャンパス（出雲市西林木町）に大学院看護学研究科の博士後期課程を2019年4月に開設すると発表し、質の高い人材育成を進めるため、他学部他学科についても今後、大学院開設を検討する考えを示した。

同大は出雲（看護栄養学部）のほか、松江（人間文学部）、浜田（総合政策学部）の3キャンパスに計3学部5学科、1短期大学部がある。大学院は出雲の看護学研究科のほか、浜田の北東アジア開発研究科に博士課程を設けている。

新設する看護学研究科の博士課程は、高度な看護を求める在学生や県内の医療機関の要請に応えたもので、同大は、教育と就労を交互に行える「リカレント教育」の態勢整備を進める方針。出雲キャンパスで会見した清原理事長兼学長は「大学院は社会人の再教育の側面があり、出雲の健康栄養学科や、松江の人間文学部でも大学院の整備を進めたい」と意欲を示した。

大学院看護学研究科は16年4月、博士前期課程に相当する二年制の修士課程を開設。がんや女性医学、精神、高齢者リハビリテーションの看護学と地域保健学の5分野の専門科目を現在、12人の学生が学んでいる。

博士後期課程は三年制で、1学年の定員は2人。開設に合わせ新たに教員3人を採用する。院生募集は9月に始め、12月に試験を行う。

（岡田素衣）



大学院看護学研究科の博士後期課程開設を発表する清原正義理事長兼学長。出雲市西林木町、島根県立大出雲キャンパス